みえ市民活動・ボランティアニュース
MIE NON-PROFIT ORGANIZATION&VOLUNTEER NEWS

2010年4月25日発行
通巻137号

ひろげる・つなぐ・かえる

2010
5

「コーヒー売上ファンド de 団体支援 贈呈式」

下の模様は SP コードと呼ばれるバーコードで、専用の読取機で音声を聞くことができます。

ひろげる・つなぐ・かえる

新しい基準を見出していくために

特定非営利活動法人三重ダルク　常務理事　市川岳仁

ある一定のニーズを持つ市民が、課題の解決を求めて自ら行動を起こすとき、それに呼応するのは同じ課題を持つ人間、すなわち「当事者性」を持つ者たちである。そしてこの時点から、その課題の解決は「ある者」だけの私益ではなく、同じ課題を共有する者たちの共益となる。受益者は当事者だけでなく、周囲にいる者、或いは地域でその課題と向き合っている人たちもその対象になる。「なんだ、意外に大きな活動じゃないか」

こうして小さな活動は、周囲にさまざまなインパクトを与えながら社会的意義を持ち始めていく。しかし多くの場合、社会の内にほかに資源がないにもかかわらず、この段階ではNPO活動の認知や専門性の評価は低く置かれることとなる。それはNPOパーソンの専門性を認証するシステムがないからだろう。日本の社会は未だ「権威付け」されていないものに対しての後援力が弱い。

半面、そのせいで専門機関や行政はNPOの位置づけに戸惑い、どの機関も一定の距離を取らざるを得ないために、既存の枠にとらわれず活動のスタンスを守れることは幸いだったりする。ネットワークの不備が、NPOの存在意義を支えている面もある。つまり、活動に対する社会からの理解と支援が得られにくいことや資源の不備が、むしろ逆に組織としても人としても外部からの関与や干渉を受けにくい状況をつくり、そのジャンルのパイオニアとして存在できる理由である場合もあるのである。面白いことである。

しかし、そんなことも言っていられない。「総出で立ち向かわなければならない」であろう右肩下がりの今後の日本社会では、地域社会の中にどのようなシステムを持つことが必要なのか。それは行政やNPOといったセクター毎の議論ではないはずだ。同じ市民として「当事者」の目覚めが必要なのだろう。

助成金情報

環境　まちづくり　福祉

環境

三井物産環境基金「2010年度　活動助成」

受付期間　5月5日（水）（消印有効）

対象団体　日本国内に拠点を持つNPO法人、一般社団・財団法人、公益社団・財団法人、特例民法法人、大学で活動実績が3年以上の団体

対象活動　●日本国内および海外における下記の地球環境問題の解決に関わる「実践的な活動」。
1. 地球気候変動問題
2. 水産資源の保護・食料確保
3. 表土の保全・森林の保護
4. エネルギー問題
5. 水資源の保全
6. 生物多様性および生態系の保全
7. 持続可能な社会構築のための調査とネットワーキング（さまざまな主体との協働）

●活動の成果を高めて波及させるため、複数団体が連携・協働する案件を重視。
●営利目的の環境ビジネスは対象外。
●NPO法人の場合は自己資金の比率が20%以上の案件。
●大学の場合は本業である研究・教育以外でNPO等との協働による社会貢献活動が対象。
●海外案件は現地に高いニーズがあり、現地に有力パートナーを有するもの。

助成金の額　総額最大3億円（詳細はホームページを参照）

助成期間　2010年10月より3年以内
※複数年にまたがる案件は1年毎に継続審査を行う。

応募方法　申請書はホームページからダウンロードし、下記宛に郵送。

問い合わせ先　三井物産株式会社　CSR推進部
三井物産環境基金事務局
〒100-0004　東京都千代田区大手町1-2-1
Tel 03-5298-6616
E-mail　office@mbk-kankyokikin.com
ホームページ http://www.mitsui.co.jp/csr/fund

福祉

第22回「わかば基金」

受付期間　5月21日（金）必着（郵送のみ）

【第1部門：支援金贈呈の部】

対象団体　地域で活発な福祉活動をすすめ、この支援金でより活動の幅をひろげていこうというグループ。

対象活動　●高齢者や障害者の日常生活支援や、さまざまなサービスの提供。

●障害者の社会参加や就労の場づくりの促進や、その活動支援。
●文化・芸術活動を通じて、障害や年齢をこえた交流や相互理解をはかっている。
●福祉情報の提供、ネットワークづくりを通して地域の福祉活動向上につとめている。

助成金の額 1グループにつき上限70万円、約10グループ支援予定。

【第2部門：リサイクルパソコンの部】

対象団体 パソコンを利用して地域で活発な福祉活動に取り組み、高齢者や障害者に直接役立つ活動を進めているグループ。

対象活動 ●地域の高齢者や障害者へのパソコン指導。
●障害者の社会参加や就労の場づくりの促進や、その活動支援。
●字幕制作や朗読活動など文化活動を通じて、障害や年齢をこえた交流や相互理解を図っている。
●福祉情報の提供、ネットワークづくりなどを通した地域の福祉活動向上につとめている。

贈呈台数 1グループにつき3台までノートパソコン50台を準備。
※なお、パソコンに搭載するソフトはウィンドウズXP、およびワードとエクセルとします。

応募方法 申込書はホームページからダウンロード。
ホームページ　http://www.npwo.or.jp/wakaba/
Tel&Faxにて申込書請求可。

問い合わせ先 NHK厚生文化事業団　「わかば基金」係
〒150-0041 東京都渋谷区神南1-4-1
第七共同ビル
Tel 03-3476-5955
Fax 03-3476-5956

福祉

共同募金配分申請（23年度事業充当）

受付期間 5月1日(土)～5月31日(月)(当日消印有効)

対象団体 県内において社会福祉事業、更生保護事業その他の社会福祉を目的とする事業を行う民間施設または団体

助成金の額 申請対象事業および配分上限額
工事…50万円　備品…30万円　その他事業…30万円
(小規模作業所は15万円、県域団体は50万円)
※申請は、上の3つの区分のうち、1つの区分について行うことができる。ただし、事業を実施するために必要な備品については、その他の事業の中に含めることができる。
※配分額の上限は、総事業費の80%または上記に定める額のいずれか低い額とする。

問い合わせ先 社会福祉法人　三重県共同募金会
Tel 059-226-2605
E-mail　miekyoubo@miewel.or.jp
ホームページ http://www.miewel.or.jp/bokin/index.html

福祉・まちづくり

平成22年度ニッセイ財団　高齢社会助成

【先駆的事業助成】

受付期間 5月31日(月) 消印有効

対象活動 1. 高齢社会における地域福祉、まちづくりを目指す地域を基盤とした事業
2. 高齢者の自立・自己実現・社会参加等を推進する地域社会システムづくりの事業
3. 認知症高齢者に関する予防からケアまでの総合的な事業

助成金の額 最長2年半、2年半の合計助成金は、1団体当たり700万円以内

【実践的研究助成】

受付期間 6月15日(火) 消印有効

対象活動 1. 高齢社会における地域福祉、まちづくりを探求する研究
2. 高齢者の自立・自己実現・社会参加等を探求する研究
3. 認知症高齢者に関する予防からケアまでを探求する研究

助成金の額 最長2年、2年間の合計助成金は1件当たり200～250万円程度

応募方法 申請書はホームページからダウンロード。
郵送のみ受付。

問い合わせ先 日本生命財団　高齢社会助成　事務局
〒541-0042　大阪市中央区今橋3丁目1番7号
日生今橋ビル4階
Tel 06-6204-4013
ホームページ
http://www.nihonseimei-zaidan.or.jp

福祉

三重ボランティア基金助成事業

受付期間 6月11日(金)必着

対象団体 県内各市町の社会福祉協議会にボランティア団体として登録され、福祉の向上を目的とした活動が計画的・継続的に行われ、地域の高齢者や障害者・児童等に対する支援を行っている団体。

対象活動 ボランティア団体の活動基盤強化のため、活動に直接要する器材・器具の助成。

助成金の額 1団体　30万円以内
※助成金累計額30万円まで申請可能。

応募方法 申請書は、市町社会福祉協議会または事務局に設置。またはホームページからダウンロード。
(地域団体) 市町社会福祉協議会へ提出。
(県域団体) 三重ボランティア基金事務局へ提出。

問い合わせ先 財団法人　三重ボランティア基金事務局
津市桜橋2丁目131番地
Tel 059-227-9994
ホームページ
http://www.miewel.or.jp/vkikin/index.html

NPO から寄せられた募集とご案内

ラフターヨガ（笑いヨガ）イベント＆養成講座

ワールドラフターデー（世界笑いの日）

ワールドラフターデーとは、世界中で何十万人もの人々が「より良い健康、喜び、そして世界平和を実現する」為に、同じ日に笑って祝う素敵な日です。

日 時 5月2日（日）
【午前の部】
10：00 受付
10：30 ～ 12：00（笑いヨガ）
【午後の部】
13：30 受付
14：00 ～ 16：00（笑いヨガ）
場 所 アスト津3階イベント情報コーナー
（津駅東口隣接ビル）
参加費 午前・午後共に、寄付制
（未成年・外国籍の方無料）

申込み不要、動きやすい服装で、水分補給の為の飲み物をご持参ください。

〈ラフターヨガ（笑いヨガ）リーダー養成講座〉
日 時 6月12日（土）・13日（日）
9：30 ～ 17：00
場 所 アスト津3階イベント情報コーナー
2日間受講の方には、ラフターヨガ創案者マダン・カタリア医師の認定書授与（有料）。要申込み（名前・連絡先を書いて、FaxかEメールで）
主 催 三重ラフター（笑い）ヨガクラブ
問い合わせ先 Tel&Fax 059-230-4077（加藤）
E-mail
dna-rumi@mve.biglobe.ne.jp

国際交流イベント

「EXPO BOLIVIA 2010 ようこそボリビア」

日 時 5月2日（日）～3日（祝）（雨天決行）
11：00 ～ 17：00
場 所 三重県総合文化センター 知識の広場
（三重県津市一身田上津部田1234）
内 容 ティアワナク遺跡パネル展示
「アラシタス祭」ミニチュア展示と販売
ボリビアの文化紹介
（料理体験、ダンス、フォルクローレなど）
問い合わせ先 日本ボリビア人協会
Tel 090-7916-6410（山田）

サロン＆講座

Salon de "TRUE BEAUTY"

【サロン】
ひとりで悩まずグループで語り合い、分かり合う。
日 時 5月7日（金）
場 所 桑名市総合福祉会館
14:00 ～ 15:30
四日市総合会館（3階 技能習得室）
18:30 ～ 20:00
日 時 5月28日（金）
場 所 鈴鹿市社会福祉協議会
（2階 小会議室）
10:00 ～ 11:30
白子公民館（1階ホール）
14:00 ～ 15:30
参加費 各500円

【講座】白子駅前商店街イベントショップ
心の病について学んでみませんか？
① 心の病を学びませんか？
日 時 5月13日（木） 13:00 ～ 14:00
5月15日（土） 17:30 ～ 18:30
5月21日（金） 17:00 ～ 18:00

②心理学講座
日 時 （体験）
5月15日（土） 18:45 ～ 20:00
（初級編）
5月13日（木） 14:30 ～ 16:00
5月21日（金） 18:30 ～ 20:00

※各講座 要予約（開催日の二日前まで）
参加費 ①は各3,150円
②は体験のみ3,150円
初級編は詳細をお問い合わせ下さい。
問い合わせ先 気分障害の自助グループ
Salon de "TRUE BEAUTY"
（代表：河西恭子）
Tel 090-1750-6245
（受付時間平日10:00 ～ 20:00）

暮らしに役立つカウンセリング

カウンセリング実践講座生募集

日 時 5月8日より毎月1回
全10回（8月休講）
場 所 みえ親子・人間関係研究会研修室
※ JR 阿漕駅前 アコギビル
（津市大倉13-19）
講 師 河合卓子＆みえ親子スタッフ
内 容 カウンセリング的対応を体験的に学ぶ。傾聴、自己表現などコミュニケーション力が身につき、教育、福祉、医療、家庭でのメンタルヘルスに活かせる。
参加費 30,000円（2回分割払い）
入会金1,000円、会費3,000円
募集人数 15名
問い合わせ先 （特活）みえ親子・人間関係研究会
Tel & Fax 059-246-5562

乳がん検診キャンペーン

乳がん体験者の会「あけぼの会」第26回母の日キャンペーン

日 時 5月9日（日）
正午 全国一斉！
内 容 ◎伊勢市外宮前付近で自己検診方法を書いたティッシュとグラブを配布。
◎外宮前のいせ市民活動センター南館前で、体験者が相談を受け付けます。正午から午後1時まで。
問い合わせ先 090-2944-4773（小野）

田植え体験 ふるさとで遊ぼう！

千枚田田植え体験 in 紀和町 参加者募集

丸山千枚田は、祖先から受け継いだ貴重な稲作文化で、全国的に稀な歴史的遺産です。丘陵地に段々と折り重なった千三百枚もの田が見せる風景の美しさは、日本農業の原点として日本人の心に潤いとやすらぎを与えます。初夏の陽気に包まれて、風情あふれる棚田にふれあいながら、ご家族そろって田植えで“ふるさとのぬくもり”を体験してみませんか。

日 時 5月16日（日）
10：00（現地集合）～14：00 解散
場 所 熊野市紀和町丸山千枚田
募集人数 200名（応募者多数の場合抽選）
申込期間 4月12日（月）～5月7日（金）
参加費 無料
持ち物 田植えのできる服装と着替え、飲み物等
問い合わせ先 勤労者による地域づくり事業実行委員会
三重県津市栄町1-891
三重県勤労者福祉会館内
三重県労働者福祉協議会
Tel 059-225-2855
Fax 059-229-4433

おもちゃを直してもらいませんか？

四日市おもちゃの病院

壊れたおもちゃをボランティアの方に直してもらいます。

日 時 5月22日（土）
14：00 ～ 16：00
場 所 みんなの居場所きらり
（四日市市西町15－16）
参加費 300円（居場所利用料）
※部品などの実費がかかることもあります

おもちゃを直してくれるドクターも募集中！
問い合わせ先 四日市まんなか子ども劇場
Tel & Fax 059-351-6670

環境講座

水生生物調査リーダー養成講座

日 時　5月30日(日)
10:00～16:00
場 所　四日市市海蔵地区市民センター
(四日市市大字東阿倉川)
参加費　無料
内 容　◇安全で楽しい水生生物調査・観察会の方法
◇「全国水生生物調査」の紹介
◇川での生物採集と仲間調べ
(採集した生物は後で逃がします)
持ち物　筆記用具、タモ網、採集した生き物を入れる入れ物、川に入るための靴、タオル、貴重品を入れるバッグなど(詳細は受講決定通知でお知らせします)
募集人数　大人20人程度(応募多数は抽選)
申込方法　郵便、Fax、Eメールのいずれかでお申し込み下さい。
申込締切　5月17日(月)
問い合わせ先　三重県環境学習情報センター
〒512-1211
四日市市桜町3684-11
Tel 059-329-2000
Fax 059-329-2909
E-mail　info@eco-mie.com

大会参加者&ボランティアスタッフ募集

2010車イス体験 ふれあいウォークラリー大会

日 時　6月13日(日)
9:30～14:30(終了予定)
雨天の場合6月20日(日)に延期
場 所　津市立豊津小学校　※メイン会場
(津市河芸町一色1680)
参加費　無料
内 容　障がいの有無に関係なく「誰でも参加できるウォークラリー」をモットーに車イスに乗って福祉に関したゲームを楽しんでいただくことで、福祉にふれていただくイベントです。

≪ボランティアスタッフも同時募集!≫
本大会の企画運営はボランティアを中心とした実行委員会で行っています。私達と一緒にイベントを作りませんか。

実行委員会
毎週土曜日18:30～20:30
センターパレス3階にて開催中!
(変更する場合がありますので、事前にお問い合わせください。)
問い合わせ先　津市社会福祉協議会
Tel 059-213-7111
E-mail
chiiki@tsu-shakyo.or.jp

事務所移転のお知らせ

「NPO法人市民ネットワークすずかのぶどう」は今般、下記に移転しました。
新住所　〒510-0241
三重県鈴鹿市白子駅前9-20
白子ショッピングタウン
サンズ　3階
Tel&Fax 059-387-0767
E-mail　budou@mecha.ne.jp
ホームページ
http://www.budou.gr.jp/

【お願い】
市民活動・ボランティアニュースに情報を提供される際、以下のことにご留意のうえ、積極的なご活用を期待しています。
(1) 原稿はニュースにそのまま掲載できる状態にして、毎月10日までにお送りください。
(2) 送付はE-mail(ない方Fax)で。その際、「市民活動・ボランティアニュースへの掲載のお願い」と件名を明記してください。
E-mail　center@mienpo.net
Fax 059-222-5971
転載を希望される場合は必ず「みえ県民交流センター指定管理者:みえNPOセンター・ワーカーズコープ」に連絡してください。

みえ市民活動ボランティアセンター　利用料金のお知らせ (4月15日より料金が一部変更になっております)

【交流スペースA・ミーティングルームA・B】 ※利用には事前に団体登録が必要です。所定の用紙にて申し込んでください。

●営利団体　利用日の3カ月前から予約可能※会議や研修にお使いください

	9:00-12:00	13:00-17:00	18:00-22:00
交流スペースA	15,000円 ※変更前17,500円	20,000円	20,000円
ミーティングルームA	3,500円	4,000円	4,000円
ミーティングルームB	3,500円	4,000円	4,000円

備　考
①当日キャンセルの場合は利用料金の100%(変更前50%)を申し受けます。
②「交流スペースA」とは、交流スペース6～8を全部利用する場合。
③9:00～17:00、9:00～22:00または13:00～22:00までの時間の金額は、それぞれ単位となっている利用時間の金額を合算した額とする。

●非営利Ⅰ 団体(非営利Ⅱ団体を除く行政・非営利法人)
＜利用日の3カ月前から予約可能＞

	1時間あたり
交流スペースA	1,500円
ミーティングルームA	300円
ミーティングルームB	300円

備　考
①当日キャンセルの場合は利用料金の100%を申し受けます。
②「交流スペースA」とは、交流スペース6～8を全部利用する場合。
③利用時間が1時間に満たない場合は、1時間とする。

●非営利Ⅱ 団体
(ボランティア・市民活動団体・NPO法人)
＜利用日の6カ月前から予約可能＞

交流スペースA	無料
ミーティングルームA	無料
ミーティングルームB	無料

備　考
①ミーティングルームは趣味、サークル、各種教室などでのご利用はできません。
②会議、勉強会等での利用は交流スペースをおすすめしています。

【デスクトップパソコン】 1時間200円(変更前　1時間400円)

みえぎんNPOローン 好評取扱中
委託金、助成金等の受け取りまでの「つなぎ資金」として最高500万円まで無担保でご融資!
対象:三重銀行の三重県下営業エリア内に主たる事務所を有するNPO法人
※ただし、当行所定の審査の結果、ご希望に添えないことがあります。
詳しくはTEL059-354-7130(担当 松川)まで
URL: http://www.miebank.co.jp
"地域とともに　みなさまとともに"
三重銀行

株式会社、社団法人等の法人設立から許認可手続まで
NPO・社会福祉法人設立
事業報告、各種変更届等の作成もお手伝いします。
フリーダイヤル **0120-406-414**(法務よいよ)
奥島要人行政書士事務所(本町総合事務所LLC内)
三重県津市本町14-18　URL www.e-houmu.info

理念と歩みから学ぶ

NPO物語

NPO STORY

Vol.13

組織にスポットライトをあて
三重県内の市民活動団体を
紹介していきます。

地域の人に支えられてこそ市民活動団体の意義がある

東紀州コミュニティデザインセンター
事務局　端無　徹也

ミニコミ誌の活動から中間支援組織へ

東紀州コミュニティデザインセンター（以下、「東紀州コミュニティ」と略）は、いつどういうきっかけで立ち上げられたのですか？

2005年9月に、私を入れて6人で、コミュニティやまちをデザインできる、行政や市民活動団体と協働していくような組織を作ろうよ、ということで立ち上げました。東紀州コミュニティの前身でもある、ミニコミ誌を発行する“owasebon（尾鷲暮らしを楽しむためのクチコミ情報誌）”の活動等をしていた時に、高齢者主体で活動しているグループが数多くあって、「私たちの代でおしまい」とか「もうできない」と言っている実態を知りました。1つの団体は5人でも、2つ合わせれば10人になり、3つ合わせれば15人になる、それを中間的な立場でコーディネートするところが必要だということがわかったんです。

クチコミ情報誌「owasebon」

ニーズを拾い上げ、履行できる人材を確保する

どのような課題があるのでしょう

一つは、2005年に東紀州コミュニティを立ち上げて以降、同世代が主になっている市民活動団体が立ち上がってきていないことです。5年前にあった団体がもうすでになくなっているというなかで、支援したくても支援する先が少なくなっています。もう一つは、中間支援の作業で大変なのは、地域のニーズを拾い上げていくことと、それを履行できる人材がいるのかということです。ニーズはあるのに、それに対応できる事務局の人材確保に苦労しています。外部の希望者はいるんですが、今まで他で生活していた人が、田舎に根付いて、生活設計を立てながら活動をしていくというのはなかなか難しい。

財源の確保は？

資金がかからないようにしようと思えば、ある程度のことはできると思っています。しかし財源は必要だし、人が動くと基本的にはお金がかかります。僕がこういう活動に足を踏み入れた5年前、遊びや趣味に使っていたお金を、すべてこの活動に投入していくというのが元々のスタンスでした。結局、財源が尽きかけた時に、じゃあ議員になって、議員の報酬をつぎ込めばいいやと思って出馬したら、下馬評を覆して当選することができました。本来ならば、その地域に住む人たちで支えられて、はじめて市民活動団体の活動意義があるのではないかと思うんです。活動に当たっては、公的資金や補助金なども手段の一つですが、そういう資金に依存しなければやっていけないという、そのパーセンテージが高ければ高いほど危険だと思うんです。

地域の人たちのお互いさまをつくるには？

そうですね。５年前から営業しているコミュニティカフェで、地域の人たちと接していますが、カフェのお客さんたちからもそのような声が出てきています。最近は自ら来てくれる市民活動団体も出てきて、相談を受けることも多くなりました。それは、今まで信頼関係を培ってきた成果だと思っているんです。でも相談内容が「物件を買うためには、ＮＰＯ法人になったほうがいいですよ、って行政に言われたんやけど、取得したあとに継続していくにはどうしたらいいのか?」とか、それって本末転倒じゃないかというようなものもあります。身の丈にあった活動をしている団体、細々と活動している団体を、地域で支えていくにはどうしたらいいか、そこに、中間支援としての役割があるように思っています。

コミュニティカフェ　CReAM Lab.（クリームラボ）

ニーズをどのように捉えているのですか？

この地域のニーズも、都会と変わらないんじゃないかと思うんです。ただ人口が少ないというだけかな。１件や２件かもしれないそのニーズを、どうやって満足してもらうか。満足度を増していけば、それが地域に残ってもらうための最良の策だと感じています。行政のメニューは決まったものしかないので、そこにマッチしないとニーズに応えることができません。市民活動団体から積み上げていくメニューがあってもいいと思うんです。

尾鷲の出身ではないのに、尾鷲に惚れこまれた強い理由は何だったのですか？

これは僕の中で非常に大事な部分なんですが、東紀州というのは１つじゃないといけないと思っているんですね。たとえば、尾鷲市の中でも、昔の旧町内で分かれていることもあるし、住んでいる人の交流がわりとないわけです。地形的に山が深かったり、湾ごとの集落であったり…、でもそういう時代じゃないんですよ。熊野市や紀北町からの人材も必要なのに、誰かが意識の垣根を崩さなくてはならない。自分は熊野市出身ですが、一番やりにくいまちが尾鷲なんです。では、その尾鷲から発信していこうと。

もう一つ、自分がライフワークとしている災害救援活動があるのですが、この地域の地震と津波が懸念されるなかで、大きな津波が一度くれば、まちとしての機能が無くなってしまうのではと思ったのが大きな理由です。そう考えると、東紀州で想定される地震の津波による死者数が最大だったのが尾鷲市なんです。最悪の想定とはいえ、２万２千人の人口で、２千人が死ぬのを黙ってみているわけにいかない。ただ災害はいつ起こるかわからないので、日常的なイベントや、市民活動をしていく中で、地域や人とつながっていく。それが災害時にはきっと活かされるはずだと。自分の中ではわかりやすい活動だったと思っています。

行政とのかかわりはどうですか？

協力していかなければいけない人材は、実は行政のなかにいると思っています。そこと情報共有しながら、とりたてて行政でしなくていい事業を任せてもらえれば、今かかっている経費以上の結果を出せると思うんです。しかし、きっかけをつかめないでいるのが現状ですね。ややもすれば、双方ともが同じようなことをやっていることもあるんですよ。

あと、尾鷲市の防災は、行政側が率先していて、避難勧告を発表するタイミングの速さや、災害要援護者の取り組みにおいては、全国でトップレベルなんです。ただ地域との意識のギャップも大きいのです。平常時は行政職員で回せるけれども、大規模に被災したときに行政は担当しきれないはずです。それを補完するのは、私たち市民です。生き残った人の中で、率先する人たちが住民を支えていくという状況をつくるには、行政と私たちのような活動をしている中間支援組織がコーディネートしていくことが重要です。

やがて僕らの活動がなくなっても、地域が動いていくのが理想

目指していることは？

地域に根ざした活動を、できる範囲からしっかりやっていくことが大切だと思うんです。行政が本来すべきことと、市民でもできることの選択が、必要となってきます。そのなかで、市民でできる部分の橋渡しを、東紀州コミュニティがどれだけ率先してできるかでしょうね。やがては、僕らのような活動がなくなっても、地域が動いていくというのを理想として持っているんです。

【データ】
三重県尾鷲市栄町 5-33　CReAM Lab. 気付
Ｔｅｌ＆Ｆａｘ　0597-22-5554
Ｅ-ｍａｉｌ　kurage874@mbd.nifty.com
ホームページ　http://crepm.exblog.jp/
代　表　者　募集中（現在は事務局のみ）
団体設立年月日　2005 年 9 月 1 日
会　員　数　5 名
会　　費　なし

三重県 NPO グループから お知らせ　Tel 059-222-5981/ ホームページ http://www.pref.mie.jp/NPO/

特定非営利活動法人認証申請団体と成立団体

認証申請団体

●認証申請団体名称　①代表者氏名　②法人事務所の所在地

●虹の学校を支える会
①堀　勝貴　②三重郡菰野町大字千種 7045 番地 960

●福祉タクシーいいだ
①飯田　浩二　②津市久居東鷹跡町 82 番地 9

●全人教育研究所
①宮﨑　つた子 ②鈴鹿市算所五丁目 5 番 11 号

●いせ就労促進協議会
①山本　助松　②伊勢市朝熊町 2062 番地 34

●夢想会夢想工房
①佐野　健治　②亀山市本町 3 丁目 719 番地

●ＭＬＳみえ生涯学習支援室
①小野　宝　②四日市市采女町 1011 番地の 1

●がんばれ . 大台
①直井　智和　②松阪市田村町 491 番地 1

●農地活用ＥＣＯプロジェクト
①草水　康男　②津市桜橋 1 丁目 607 番地 2

●人権コンサートＮＰＯムジーク
①渡辺　千賀子②名張市梅が丘北 1 番町 114 番地

●ハッピータウン福祉サービス
①平田　完　②鈴鹿市飯野寺家町 655 番地 1

●おれんじ
①山口　令史　②名張市百合が丘東 9 番町 134 番地

●いちまる
①堀　京子　②津市藤方字百反 2255 番 3

（平成 22 年 3 月 10 日～平成 22 年 4 月 9 日申請分）

成立した特定非営利活動法人（登記年月日）

●愛サポート（平成 22 年 2 月 18 日）
●水耕栽培福祉普及協会（平成 22 年 3 月 16 日）
●菰野町スポーツ・文化振興会（平成２２年 4 月 1 日）
●ふるさとの杜（平成２２年 4 月 1 日）

（平成２２年 3 月 10 日～平成２２年 4 月 9 日届出分）

みえ市民活動ボランティアセンターから お知らせ Tel 059-222-5995/ ホームページ http://www.mienpo.net/center/

ＮＰＯ無料よろず相談

毎回 2 団体先着順のため、相談日の 1 週間前までにお申し込みください。

日　時 毎月第一火曜日（祝祭日の場合は翌日）
(1)　10：00 ～ 11：00
(2)　11：00 ～ 12：00
【今後の予定：5月11日、6月1日、7月6日】

場　所 アスト津 3 階 (津駅東口隣接ビル)
みえ県民交流センター

相談員 みえ県民交流センター指定管理者、
みえ NPO センター・ワーカーズコープ
グループ代表　みえ NPO センターの代表理事、同事務局長

対　象 NPO 法人設立を考えている団体や個人、NPO・中間支援センタースタッフ、NPO・市民活動に関心がある市民など。

中間支援組織担当者ネットワーク交流会

～顔の見えるつながりを作りませんか？～

中間支援、NPO 支援に関わる人が集まり、共通の悩みや疑問を出し合って、意見交換する場です。参加は無料、会場はみえ県民交流センター交流スペースです。（※隔月に開催）

日　時 5月13日（木）15:00 ～ 17：30
※時間が変更になりました。

表紙の写真　みえ県民交流センターの 12 か月を、毎月写真でご紹介します。今月は 3 月 26 日に行われた「コーヒー売上ファンド de 団体支援 贈呈式」の模様です。
コ ラ ム　「ひろげる・つなぐ・かえる」は 5 月号からさまざまな方に執筆いただきます。ご期待ください。

みえ市民活動・ボランティアニュースはこちらにあります。

【地域の市民活動センター等】
〈津　市〉みえ市民活動ボランティアセンター/津市市民活動センター/三重大学/看護大学/三重短期大学/高田短期大学　〈桑名市〉桑名市市民活動センター　〈いなべ市〉いなべ市市民活動センター　〈東員町〉とういんボランティア市民活動支援センター　〈四日市市〉四日市市市民活動センター/みえチャレンジプラザ/四日市大学　〈亀山市〉亀山市市民協働センター　〈鈴鹿市〉市民ネットワークすずかのぶどう/鈴鹿国際大学/鈴鹿医療科学大学　〈松阪市〉松阪市市民活動センター/三重中京大学　〈伊勢市〉いせ市民活動センター/皇學館大学　〈鳥羽市〉鳥羽NPOネットワークセンター･結　〈志摩市〉志摩市市民活動支援センター/横山ビジターセンター　〈名張市〉名張市市民活動支援センター／エコリゾート赤目の森/名張市立図書館/名張青年会議所/皇學館大学名張キャンパス/名張市総合福祉センター　〈伊賀市〉伊賀市市民活動支援センター/ウイリアム･テルズ　アップルまちづくりセンター/伊賀市中央公民館/伊賀市立図書館/上野青年会議所　〈尾鷲市〉東紀州コミュニティデザインセンター　〈明和町〉めいわ市民活動サポートセンター　〈南伊勢町〉南伊勢町町民文化会館　〈紀宝町〉紀宝町ボランティア市民活動センター

【地域の社会福祉協議会】県内の市町社会福祉協議会
【金融機関･企業等】百五銀行各店/第三銀行各店/三重銀行各店/東海労働金庫各店/メディカル一光各調剤薬局
【行政機関等】三重県庁県民ホール/三重県地域機関（各県民センター[桑名、四日市、鈴鹿、津、松阪、伊勢、伊賀、尾鷲、熊野]）/三重県栄町庁舎（情報公開窓口）/三重県総合医療センター/三重県立一志病院/三重県立志摩病院/三重県立こころの医療センター/三重県立こころの健康センター/斎宮歴史博物館/三重県立博物館/三重県立図書館/三重県生涯学習センター/三重県男女共同参画センター『フレンテみえ』/三重県人権センター/三重県身体障害者総合福祉センター/三重県環境学習情報センター/三重県鳥羽パート情報センター/三重県立熊野古道センター/各市町役場

協　賛

みえ市民活動･ボランティアニュース発行にあたり、協賛をいただいております。

キラリと光るあなたの銀行 第三銀行
三重銀行
百五銀行 FRONTIER BANKING
健全・安心・貢献 東海ろうきん
JAバンク 三重県下JA／JA三重信連

R70　PRINTED WITH SOYINK　古紙 70%の紙と環境にやさしい植物性大豆インキを使用しています。

発行 / みえ県民交流センター指定管理者
みえ NPO センター・ワーカーズコープ

〒514-0009　津市羽所町 700 番地　アスト津 3 階
TEL.059-222-5995　FAX.059-222-5971
E-mail center@mienpo.net　ホームページ http://www.mienpo.net/center